

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書

(自 令和4年10月1日 至 令和5年9月30日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人澄心会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取21番地の1

岐阜県岐阜市藪田南4丁目14番の4

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成11年9月1日

(4) 設立登記年月日 平成11年9月2日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長		
理 事		
同		
同		
同		
同		
同		
監 事		
同		
評 議 員		
同		
同		

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第47条第1項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第49条の4参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	豊橋ハートセンター 岐阜ハートセンター	愛知県豊橋市大山町字五分取21番地の1 岐阜県岐阜市藪田南4丁目14番の4	一般病床 130床
			一般病床 120床
			療養病床 床
			[医療保険 床]
			[介護保険 床]
			精神病床 床
			感染症病床 床
			結核病床 床
診療所	なし		一般病床 床
			療養病床 床
			[医療保険 床]
			[介護保険 床]
介護老人 保健施設	なし		入所定員 名
			通所定員 名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
なし		

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
なし		

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和4年12月23日 令和3年度決算の決定

12

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。

なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

- (7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

- (8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

- (9) その他

様式第一号

法人名 医療法人澄心会

所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取21番地の1

※医療法人整理番号

1239

貸 借 対 照 表

(令和5年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	7,988,789	I 流 動 負 債	2,951,997
現金及び預金	5,483,221	買 掛 金	2,119,520
事業未収金	2,283,568	未 払 金	165,781
たな卸資産	149,978	未 払 費 用	198,105
前払費用	29,633	未払法人税等	110,825
その他の流動資産	42,389	預 り 金	15,460
		賞 与 引 当 金	331,457
		その他の流動負債	10,849
II 固 定 資 産	4,642,938		
1 有 形 固 定 資 産	3,239,309		
建 物	1,114,568		
建物付属設備	278,647		
構築物	18,023		
医療用器械備品	346,182	II 固 定 負 債	514,861
その他の器械備品	86,666	退職給付引当金	514,861
車両及び船舶	3,616		
土地	1,246,376		
建設仮勘定	138,157		
その他の有形固定資産	7,074		
2 無 形 固 定 資 産	53,800	負 債 合 計	3,466,858
借 地 権	1,033	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	51,405	科 目	金 額
その他の無形固定資産	1,362	I 出 資 金	356,030
3 その他の資産	1,349,829	II 積 立 金	8,808,839
出 資 金	26,686	利益準備金	100,000
保 証 金	96,595	別途積立金	1,820,000
保険積立金	942,794	繰越利益積立金	6,888,839
繰延消費税額	51,540		
繰延税金資産	232,059		
その他の固定資産	155		
		純 資 産 合 計	9,164,869
資 産 合 計	12,631,727	負債・純資産合計	12,631,727

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式第二号

法人名 医療法人澄心会
所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取21番地の1

※医療法人整理番号 11239

損 益 計 算 書
(自 令和4年10月1日 至 令和5年9月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		14,081,747
2 事業費用		13,182,220
本来業務事業利益		899,527
事業利益		899,527
II 事業外収益		
受取利息	59	
受取配当金	1	60
III 事業外費用	—	—
経常利益		899,587
IV 特別利益		
その他の特別利益	400	
		400
V 特別損失		
固定資産除却損	311	
		311
税引前当期純利益		899,676
法人税・住民税及び事業税	241,921	
法人税等調整額	△ 2,432	239,489
当期純利益		660,187

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式第三号

法人名 医療法人澄心会
所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取2 1 番地の1

※医療法人整理番号 1239

財 産 目 録
(令和5年9月30日現在)

1. 資 産 額	12,631,727 千円
2. 負 債 額	3,466,858 千円
3. 純 資 産 額	9,164,869 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	7,988,789
B 固 定 資 産	4,642,938
C 資 産 合 計 (A + B)	12,631,727
D 負 債 合 計	3,466,858
E 純 資 産 (C - D)	9,164,869

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

※医療法人整理番号

法人名 医療法人澄心会

所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取21番地の1

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員の近親者が代表 者である法人	株式会社 フェロー (注)1	愛知県豊橋市	9,133,102	医薬品、診療材 料等の卸	医薬品、診療材 料等の購入	医薬品、診療材 料等の購入 (注)2	5,638,264	買掛金 未払費用	1,535,352 7,292

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注)1 当法人理事長鈴木孝彦の配偶者が代表取締役である法人である。
(注)2 医薬品、診療材料等の購入に関する取引価格は市場価格を勘案して決定し、支払条件は三ヵ月後現金払いとしている。

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人澄心会

理事長 鈴木 孝彦 殿

私は、医療法人澄心会の令和4年会計年度（令和4年10月1日から令和5年9月30日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 年 月 日

医療法人澄心会
監事 星野順一郎

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項

該当事項はありません。

2 資産の評価基準及び評価方法

(1) 出資金の評価基準及び評価方法

時価のないもの 移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 建物の減価償却方法

法人税法の規定による定額法

ただし、平成10年3月31日以前に取得した建物については定率法

(2) 建物付属設備及び構築物

法人税法の規定による定額法

ただし、平成28年3月31日以前に取得した建物付属設備及び構築物については定率法

(3) 建物・建物付属設備及び構築物以外の有形固定資産の減価償却方法

法人税法の規定による定率法

(4) 無形固定資産の減価償却方法

法人税法の規定による定額法

(5) 一括償却資産

3年均等償却

4 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しています。なお、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しています。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税等の会計処理は、税抜方法によっています。

なお、資産に係る控除対象外消費税額等のうち、税法に定める繰延消費税額等は繰延消費税額等に計上のうえ、5年間で均等償却しております。

6 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

(1) ファイナンス・リース取引の処理方法

前々会計年度の末日の負債総額が200億円未満であることから、リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっております。なお、医療法人会計基準適用前の契約に基づく、リース料総額が300万円を超えるリース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、売買取引に準じた会計処理によっております。

(2) 補助金等の会計処理方法

補助対象となる支出が事業費に計上されるものについて、補助対象の費用と対応させるため、事業収益に計上しております。

7 重要な会計方針を変更した旨等

該当事項はありません。

8 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

該当事項はありません。

9 担保に供されている資産に関する事項

該当事項はありません。

10 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業内 容	関係事 業者と の関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員の近 親者が代 表者であ る法人	株式会社 フェロー (注) 1	愛知県 豊橋市	9,133,102	医薬 品、診 療材料 等の卸	医薬 品、診 療材料 等の購 入	医薬 品、診 療材料 等の購 入 (注) 2	5,638,264	買掛金 未払費用	1,535,352 7,292

取引条件及び取引条件の決定方針

(注) 1 当法人理事長鈴木孝彦の配偶者が代表取締役である法人である。

(注) 2 医薬品、診療材料等の購入に関する取引価格は市場価格を勘案して決定し、支払条件は三ヶ月後現金払いとしている。

(2) 個人である関係事業者

該当事項はありません。

11 重要な偶発債務に関する事項

該当事項はありません。

12 重要な後発事象に関する事項

該当事項はありません。

13 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 繰延税金資産の主な発生原因別内訳

令和5年9月30日

(単位：千円)

未払事業税	168
賞与引当金	90,819
退職給付引当金	141,072
繰延税金資産小計	232,059
繰延税金資産合計	232,059

(2) 有形固定資産の減価償却累計額

4,669,207 千円

様式第五号

法人名 医療法人澄心会

※医療法人整理番号 1239

所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取2番地の1

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却 累計額又は償却 累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
有形 固定 資産	建物	1,796,021	6,454		1,802,475	687,907	45,427	1,114,568
	建物付属設備	1,724,364	9,745		1,734,109	1,455,462	59,044	278,647
	構築物	116,075	540		116,615	98,592	2,726	18,023
	医療用器械設備	2,203,277	260,386	90,026	2,373,637	2,027,455	167,561	346,182
	その他の器械備品	424,662	44,257	1,491	467,428	380,762	38,074	86,666
	車両及び船舶	29,676	6,349	13,384	22,641	19,025	5,161	3,616
	一括償却資産	21,487	7,078	7,334	21,231	14,157	7,077	7,074
	計	6,315,562	334,809	112,235	6,538,136	4,683,360	325,070	1,854,776
無形 固定 資産	ソフトウェア	411,385	17,043		428,428	377,023	20,866	51,405
	計	411,385	17,043	0	428,428	377,023	20,866	51,405
その 他の 資産	その他の固定資産	256		4	252	100	6	152
	計	256	0	4	252	100	6	152

1. 有形固定資産、無形固定資産及びその他の資産について、貸借対照表に掲げられている科目の区分により記載すること。
2. 「前期末残高」、「当期増加額」、「当期減少額」及び「当期末残高」の欄は、当該資産の取得原価によって記載すること。
3. 当期末残高から減価償却累計額又は償却累計額を控除した残高を、「差引当期末残高」の欄に記載すること。
4. 合併、贈与、災害による廃棄、滅失等の特殊な事由で増加若しくは減少があった場合又は同一の種類のものについて資産の総額の1%を超える額の増加は、その事由を欄外に記載すること。若しくは減少があった場合（ただし、建設仮勘定の減少のうち各資産科目への振替によるものは除く。）
5. 特別の法律の規定により資産の再評価が行われた場合その他特別の事由により取得原価の修正が行われた場合には、当該再評価差額等については、「当期増加額」又は「当期減少額」の欄に内書（括弧書き）として記載し、その増減の事由を欄外に記載すること。
6. 有形固定資産又は無形固定資産の金額が資産の総額の1%以下である場合又は有形固定資産及び無形固定資産の当該会計年度におけるそれぞれの増加額及び減少額がいずれも当該会計年度末における有形固定資産又は無形固定資産の総額の5%以下である場合には、有形固定資産又は無形固定資産に係る記載中「前期末残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の欄の記載を省略することができる。なお、記載を省略した場合には、その旨注記すること。

様式第六号

法人名 医療法人澄心会
所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取 2 1 番地の 1

※医療法人整理番号 11239

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
賞与引当金	328,667	964,741	961,951		331,457
退職給付引当金	508,327	84,794	78,260		514,861

1. 前期末及び当期末貸借対照表に計上されている引当金について、設定目的ごとの科目の区分により記載すること。
2. 「当期減少額」の欄のうち「目的使用」の欄には、各引当金の設定目的である支出又は事実の発生があったことによる取崩額を記載すること。
3. 「当期減少額」の欄のうち「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、減少の理由を注記すること。

様式第九の一号

法人名 医療法人澄心会
所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取2 1 番地の1

※医療法人整理番号 1289

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事 業 費	本 部 費	計			
材料費	6,855,529		6,855,529			6,855,529
給与費	3,720,892		3,720,892			3,720,892
委託費	249,637		249,637			249,637
経費	2,333,094		2,333,094			2,333,094
売上原価	0		0			0
その他の事業費用	23,068		23,068			23,068
計	13,182,220		13,182,220			13,182,220

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. 中科目区分には、それぞれ細区分を設け、売上原価については、商品（又は製品）期首たな卸高、当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）、商品（又は製品）期末たな卸高を、材料費、給与費、委託費、経費及びその他の費用については、その内訳を示す費目を記載する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

様式九の二号

法人名 医療法人澄心会
所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取21番地の1

※医療法人整理番号 1239

事業費用明細表
(自 令和4年10月1日 至 令和5年9月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 材料費		6,855,529
II 給与費		3,720,892
III 委託費		249,637
IV 経費		2,333,094
V 売上原価		
商品（又は製品）期首たな卸高		
当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）		
商品（又は製品）期末たな卸高		0
VI その他の事業費用		
研修費	23,068	23,068
事業費用計		13,182,220

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. I からVIの中科目区分は、省略する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

様式第四号

※医療法人整理番号

法人名 医療法人澄心会
所在地 愛知県豊橋市大山町字五分取21番地の1

純 資 産 変 動 計 算 書
(自 令和4年10月1日 至 令和5年9月30日)

(単位:千円)

	基金 (又は出資金)	積立金				評価・換算差額等			純資産合計
		利益準備金	別途積立金	繰越利益積立金	積立金合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等	
令和4年9月30日 残高	356,030	100,000	1,820,000	6,228,652	8,148,652				8,504,682
会計年度中の変動額					0				
当期純利益				660,187	660,187				660,187
					0				
					0				
会計年度中の変動額合計	0	0	0	660,187	660,187				660,187
令和5年9月30日 残高	356,030	100,000	1,820,000	6,888,839	8,808,839				9,164,869

1. 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
2. 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載することができ。この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。
3. 積立金及び純資産の各合計欄の記載は省略することができる。